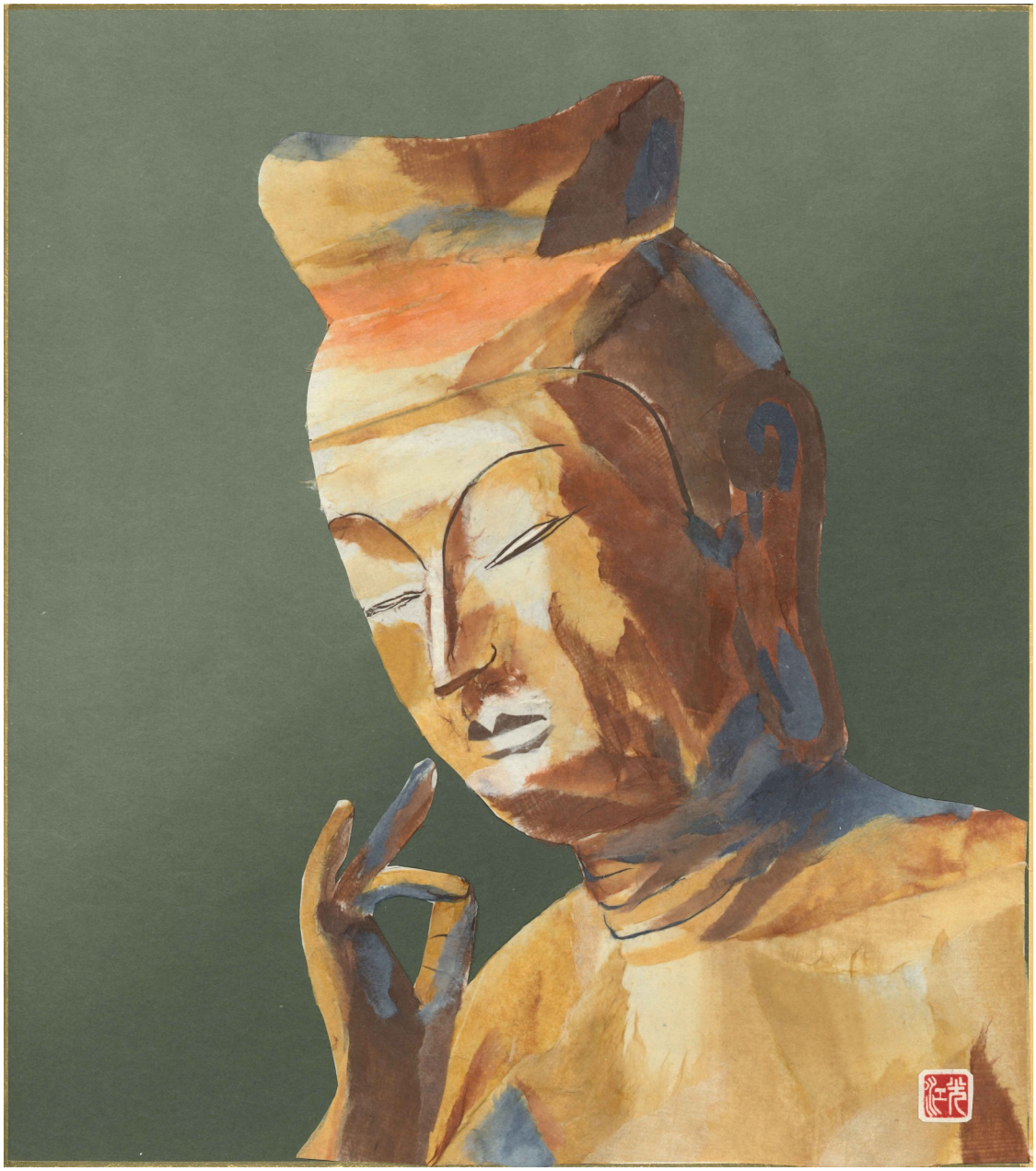
全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第６２号(平成30年５月号)



みほとけの笑みや満ちたり五月闇（直人）

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局　鈴木　正之
〒140-0014　東京都品川区大井1-54-6　いぶき学院内
TEL:03-5743-7458　FAX:03-5743-7459
Mail:center-office@shijyuku.net

理 事 長　仲野十和田
TEL03-3963-5572
広報部長　大住　明敬
TEL048-957-8608

理事長コラム

理事長　仲野十和田（ナカジュク・東京都）

全国研修では、多くの方々にお越しいただき、ありがとうございました。講演者にも恵まれましたが、田中研修部長、鈴木事務局長を始め、実行委員の方々の細かい心遣いが、これまでの最多動員に結びついたと思っています。お疲れ様でした。蓮池さんのお話はとても考えさせられることが多くありました。たまたま蓮池さんは恋人と拉致されたので、その方と結婚することができましたが、通常は結婚相手も選ばれてしまい、子どもを産むタイミングや育児の仕方、もちろん勉強内容も管理されてしまいます。「夢」や「自由」という言葉は無縁の世の中です。朝鮮人として育てられた蓮池さんのお子さんたちが日本へ帰国するとき、かなり心配されたそうですが、若い人たちは順応性が高く、日本という夢の国で希望を持つことの方が優ったそうです。

余談ですが、その後GW中にギックリ腰を患ってしまった私は、体の自由を奪われ、日ごろ当たり前にできることへの感謝の気持ちを痛切に感じた次第です。

さて、全国研修の前に行われた代表者会議で役員改選が行われ、理事長をもう一期させていただくことになりました。来年は年号が変わり、再来年は東京オリンピックが行われるという激動の期間です。激動と言えば教育業界も、２０２０年の大学入試改革に向けていろいろと話題が多くなっています。首都圏の中学入試では、その大学入試の不安からか、小６の人口が減ったにも関わらず、昨対で受験者は増えました。来年の小６人口は増える予定なので、さらに厳しいものになるでしょう。また、入試で英語を導入する中学が都内では１２４％増、１都３県で3分の１に及んでいるとのことです。英語教育は5月２７日に行われるエリア四国の研修の大きなテーマですが、塾としてのしっかりとしたスタンスを取る必要があると思います。私塾ネットは数少ない全国規模の任意団体です。任意団体の特徴は、規制に囚われず、何でもできることだと思います。

実は、先日人生初の１０㎞マラソンにチャレンジしました。偏平足の私のとって、長距離走は避けてきたのですが、若い人スタッフに誘われ、断ることができなくなってしまったのです。スタート５㎞位からは大変な思いをしましたが、沿道の応援にとても元気づけられました。話には聞いていましたが、これほど他人の応援に勇気をもらうとは思っていませんでした。そして、生徒へ今まで以上に心を込めた応援をしていこうと誓いました。

私塾ネットの理事長職は応援団長だと思います。エリアの活動をしっかりと応援していきたいです。私塾ネットはエリアの活動が主体です。必要があればいつでも応援団長は駆けつけます！

あと２年間、よろしくお願いいたします。

経済産業省よりお知らせ

経済産業省より以下の依頼が来ております。会員塾の皆様にはご協力をお願いいたします。

理事長　仲野十和田

平成３０年度特定サービス産業実態調査の実施に伴う協力依頼について

平成３０年７月１日現在で統計法（平成１９年法律第53号）に基づく基幹統計調査として、「平成３０年度特定サービス産業実態調査」を実施します。

本調査は、サービス産業の実体を明らかにし、サービス産業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象事業所・無企業には、６月中旬頃から順次、調査関係書類を送付させていただく予定です。

4月22日開催の2018年全国研修大会は、１部２部延べ１３０名の参加者を数えました。久々に１００名の大台を大きく越え、盛況のうちに終了することができました。第一部講演会の拉致被害者蓮池薫さんの講演では、会場を埋めた１００名を越える聴衆は微動だにせず、深い感動とともに９０分を過ごしました。以下は後日蓮池さんから届いたメッセージです。

その節は大変お世話になりましたし、とても楽しかったです。教育者としての熱意、子供たちの健全な成長をを願う皆さんの情熱を感じまして、講演にもとても力が入りました。感謝申し上げます。

拉致問題、今のところいい方向に進む可能性が見えております。皆さんの帰国を願うばかりです。

では皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

蓮池

第２８回代表者会議報告

事務局長　鈴木正之

日時：平成30年4月22日（日）13:00～13:40
場所:きゅりあん(品川区立総合区民会館)
　６階小会議室
出席者（敬称略）…代表者：仲野、谷村、湯口、鈴木正、関、中村直、寺嶋、鈴木学、大住、安藤、渡辺浩、佐藤将、近藤。監事：梶原、加藤。新役員：長江

代表者19名中、出席13名、委任状出席1名。合計14名出席となり代表者会議が成立し、議案は全て全会一致で承認されました。

議案

第１号議案　平成２９年度事業報告及び平成３０年度事業予定
　※事業予定は別掲。

第２号議案　平成２９年度決算報告
　梶原監事、加藤監事から監査結果報告。

第３号議案　役員改選
1.理事長選出　仲野現理事長継続
2.役員
　※エリア四国総会にて選出…エリア四国代表：近藤誠介氏
　※理事長による選任…副理事長：寺島謙次氏、エリア活動推進部長：長江広紀氏、顧問：小宮山博仁氏、竹内康信氏、監物一男氏
3.その他
　名誉会員に監物先生（私塾ネット設立以来役員として貢献。特にセンター会計として長く貢献されました）
　その他来年度役員について異動を検討するも、今年度は変更無しとなりました。
　※センター役員一覧は別掲。

第４号議案　平成３０年度事業計画
1.広報により一層の会員の結束を強化する。コンソーシアム、合同会議、議連のレポートも掲載していく。
2.エリアの活動の活性化を図る。
3.他団体の活動への参加と協力を積極的に行う。
　関西私塾連盟との友好関係を築いていく。
　ＮＰＯ塾全協との協同体制：交流を深め、協力できるところは積極的に協力していく。
4.会員ＭＬの構築：ルールを明確にして、ホームページや広報に載せられるものは随時載せていく。全国の会員の意見を幅広く聞き、情報の共有と会員間の交流を目指す。次回の広報にその旨掲載して会員に参加を促す。

きゅりあん6階の会議室を借りての代表者会議

5.塾生（大学進学生）の講師登用について
　講師不足解消のため、会員塾の塾生（大学進学生）を他の会員塾で講師として円滑に採用できる仕組みづくりをする。
　会員塾が相互に連絡を取り、採用する会員塾の責任において採用する。
　私塾ネットＨＰ上に講師募集の有無の欄を設置し確認できるようにする。

第５号議案　平成３０年度 予算案

第６号議案　規約改正の件
1.エリア規定の掲載について
　各エリアの規定があれば「会員名簿＆規約」に掲載する
2.慶弔規定を以下のように決定し施行する。
　全日本私塾教育ネットワークセンター（私塾ネット）慶弔内規案
　第１条　この内規は全日本私塾教育ネットワーク（以下私塾ネット）の規約に基づき、正会員とその配偶者の慶弔等について定める。
　第２条　それぞれの会員において該当する慶弔があり、本規定の適用をうけるには、私塾ネットセンターまたは所属する私塾ネットエリア事務局への報告を必要とする。
　第３条　弔慰は以下の通り定める。
　（1）会員の逝去の場合　供花１基・弔電
　（2）配偶者逝去の場合　供花1基・弔電
　（3）一親等の逝去の場合　弔電
　第４条　祝儀は以下の通り定める。
　（1）会員の結婚の場合　祝電
　付則　この内規は平成１４年４月２２日より施行する。

その他
　自民党、塾議連4/11発足
　自民党中心の議連だが、我々学習塾サイドは超党派を願う。私塾ネットは特定の政党と結びつかないことを確認した。

エリア通信

エリア東北　姉崎　純
（個別指導Axis観光通り校・青森県）

個別指導Axis観光通り校の柿崎でございます。自己紹介については、別途「全国塾長・職員研修に初参加して」で取り上げておりますので、早速ですが、青森県の入試情報について述べます。ただ、青森県（特に青森市）では県立高校入試が主ですので、ここでは県立高校入試に絞って説明します。

１．概要

青森県立高校入試は例年、３月８日に行われ、３月１４日に合格発表が行われます。平成３０年度入試においては、全日制課程の募集人員８，５７８名に対して９，００７名が出願。最終出願倍率は１．０５倍となりました。どの地域でも、商業・工業等の専門高校が高い倍率となっております。

２．学力検査

各科目１００点満点です。平成３０年度入試の内容をもとに特徴を述べます。

①国語（制限時間５０分）

大問数は６つ。１問目が聞き取り検査です。問題用紙には資料のみ提示されていて、質問はある話とともに放送で流されますので、ポイントを押さえてメモしなければなりません。２問目は基本的な漢字の読み書きです。３問目は古典で、今回は漢文が出題されました。漢文と書き下し文が一緒に示されています。４問目は物語文で、５問目は論説文です。いわゆる読解問題です。空欄補充や、選択、書き抜き、５０字程度の記述問題が出題されました。題材文の表現を基に解答していく典型問題です。６問目は作文で、資料を見ながら２段落構成で１５０字以上から２００字以内でまとめる問題です。

②数学（制限時間４５分）

大問数は５つ。１問目は計算や資料、比例反比例、関数、図形の基礎を問う小問集合です。ここだけで４０点前後を占めていますので、得点源とさせたいところです。２問目は確率と連立方程式に関する文章問題です。文章問題の典型と言えます。３問目は証明や、角度、線分の長さ、面積等の平面・空間図形に関する問題で、４問目はグラフの記入と変化の割合、数値の算出等を問う２次関数の問題です。ここではややむずかしめの設問が含まれています。５問目は総合問題で、今回は一般道路と高速道路を題材にした一次関数と速さ、規則性に関する問題が出題されました。

③英語（制限時間５０分）

大問数は５つ。１問目はリスニング問題です。放送される会話や文章を聞いて、質問にふさわしいものを１つ選ぶものを中心に問うています。ここだけで３０点前後を占めています。２問目は資料と対話文を読みながら、並べ替え英作文や、空欄補充、条件英作文を問うています。３問目は対話文を読んで、対話が成立するのにふさわしい選択肢を選んだり、英文を書いたりする問題です。教科書の基本文を押さえておくことが大切です。４問目はあるスピーチを読んで、適切な日本語を記入したり、質問に答えたり、日本文を英文にしたりする問題です。５問目はある出来事について、その内容にふさわしい選択肢を選んだり、要約文を完成させるのに相応しい単語を選んだり、日本語で説明したりする問題が出題されました。長文問題は制限時間の割には分量が多いと言えるので、普段から長文読解問題に馴れさせる必要があります。

④理科（制限時間４５分）

大問数は６つ。１問目は生物・地学分野、２問目は物理・化学分野の小問集合です。平成３０年度は植物や、光合成、偏西風、地球から見た太陽の動き、塩化ナトリウムの飽和水溶液や、水酸化ナトリウム、モノコード、力について問われました。３問目は生物分野で、ヒトの生命を維持するしくみにおける酸素の働きについて問われました。４問目は化学分野で、酸性とアルカリ性の水溶液を混ぜ合わせたときの変化が出題されました。５問目は物理分野で、電気回路を題材として、オームの法則や、電流、電圧、抵抗に関する計算、直列つなぎと並列つなぎの違いが取り上げられていました。６問目は地学分野で、動き続ける大地を題材に、大陸プレートと海洋プレートの動き方や、Ｓ波や初期微動の開始時刻などの地震に関する問題が出題されました。

⑤社会（制限時間４５分）

大問数は７つ。１問目は世界地理、２問目は日本地理となっていて、地図の見方やグラフ、雨温図、資料の読み取り、略地図や資料、地形図が問われました。３問目は古代から江戸時代までの歴史、４問目は明治から戦後までの歴史で、年表や資料の空欄補充、ある出来事について合致するものの選択が問われています。５問目は公民の「国際社会と国際問題」分野、６問目は公民の「私たちの生活と財政」が出題され、空欄補充や適語選択、用語記述、短文説明を課しています。７問目は地理、歴史、公民の融合問題で、ある資料が提示されていて、その資料に関係のある出来事や歴史上の人物、用語補充と説明について問われました。

３．終わりに

全科目、教科書内容を満遍なく問うていると言えます。また、説明させる問題が多くなっているので、普段からの学習指導において説明させる機会を作らなければと日々思っているところです。

エリア関東　代表　渡辺　浩
（渡辺塾・東京都）

４月の全国研修大会は大盛況に終わり、同時にエリア関東代表として１期２年目の承認を頂きました。至らない点が多々あったかと思われますが、前年度の経験を踏まえ、全力で励んでまいりたいと思います。

さて、エリア関東では昨年度１０月に国語科の研修会を開かせていただきました。研修会終了後には多方面から賛辞のお言葉を頂き、今年度も継続して１０月に国語科の研修会を行いたいと存じます。また、夏期講習明けのＳＴＥＰさんの研修施設をお借りしての宿泊研修ですが、こちらもＳＴＥＰ龍井先生及び高橋先生のご厚意で今年度も行わせていただくこととなりました。年末には恒例となりました情報交換会ももちろん行わせていただきます。今年度も昨年度同様、任意団体ならではの研修に力を入れ、会員塾の先生方にとって有益な情報を提供してまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、先日経済産業省で行われました『学習塾事業者対象ＩＴ補助金説明会』に参加させていただきましたので、その内容を簡単にご紹介させていただきます。

こちらの説明会は公益社団法人全国学習塾協会主催で、２０１８年５月８日（火）に経済産業省内で行われました。同補助金は、経済産業省が「中小企業に有益な施策等に関する情報及びＩＴツール活用や経営改善の共有は生産性において不可欠」であるとして、ＩＴを活用した生産性を向上させるために『ＩＴ導入補助金』として、２０１７年補正予算５００億円、１３万社を対象とすることとなりました。「補助金」というと申請書の作成など事業者にとっては煩わしい面がありましたが、今回の補助金は簡単に申し上げますと、書類等の申請はベンダー様（ＩＴツール事業者）が担うため、我々学習塾事業者はそのベンダー様のお客様になるわけです。ただし、ＩＴという言葉は非常に広域であいまいな意義を持つため、補助対象となる経費区分はご注意ください。認可されるのはソフトウェア、クラウド利用費、導入関連費用で、ハード（タブレットやＰＣ等）はその対象となりません。また、新規のＨＰ導入には補助対象となりますが、機能強化（バージョンアップ等）は対象となりません。さらに補助率は２分の１以内で、補助金の上下限額も設定されており、上限額は５０万円、下限額は１５万円となります。つまり、総額１００万円以上のＩＴ導入の際には最大５０万円の補助金が交付され、総額３０万円未満は対象外となります。補助の公募は全部で３回、公募のスケジュール等詳細につきましては、経済産業省ＨＰ内ＩＴ補助金（https://www.it-hojo.jp/）をご覧ください。

エリア四国　小野　昭
（小野塾・香川県）

四国のエリア通信を担当させていただきます。小野塾、小野　昭です。

さて自塾のある、香川県の昨年度の高校入試を振り返ってみたいと思います。

受験者数は６５２２人（前年度比１４２人減）の全５教科（各５０点、合計２５０点）総合平均点は146.1点で、目安としていた想定得点１３８点前後を大きく上回り、過去１０年で最高でした。

香川県の高校入試には３：１協定なるものがあります。どういうものかと申しますと、公立と、私立の入学定員を３：１とするというものです。この協定により毎年競争倍率は県平均で1.25倍程度に落着くようになっています。少子化のご時世、私立高校には一定の救済措置としての役割を果たしているとも言える制度です。

競争倍率は進学校の高松高校で1.18倍、丸亀高校で１.08倍と穏やかでした。一方競争倍率が高かったのは、高松南高校・農業1.96倍、次いで多度津高校・建築1.92倍でした。

問題傾向としましては、国語の作文と、英語の英作文においてですが、テーマを3つ与えられて、その中から好きなものを1つ選んで解答するという形式になりました。この傾向は2年連続です。それまでは1つのテーマしか与えられない形式でした。ちなみに今回の国語の作文問題は次の様なものでした。

あなたのクラスでは、「クラスの目標を表す言葉」について考えることになり、その結果、次の①～③の三つの言葉の中から一つ選ぶことになりました。あなたならどの言葉を選びますか。あなたの意見を、その言葉をクラスの目標にしたいと考える理由がよくわかるように、体験や具体例を示しながら２５０字程度で書きなさい。①「切磋琢磨」②「一期一会」③「無我夢中」という問題でした。また、英語の英作は次の様なものでした。

あなたは、日本の伝統的なものや行事などについて、紹介することになりました。次の三つのうちから一つ選んで、それを説明する文を、後の注意に従って、英語で書きなさい。①「落語」②「和食」③「花見」という問題でした。

また、入試制度の変更として、傾斜配点制度というものが廃止になりました。傾斜配点制度とは、受験科目5教科の中から、事前に申請した2教科の得点が、1.5倍になって得点合計されるというものです。廃止前までは、申請した2教科に重点をおいて学習するとか、どの2教科を申請するのか等の進路指導がありました。また、均等に得点するタイプの生徒さんよりも、教科の得点ににメリハリ・ばらつきのあるタイプの生徒さんの方が合計点が伸びやすいという一面がある制度でした。

新学年がスタート致しました。今年はどのような一年になっていくのでしょうか。諸先生の皆様方におかれましても良い年でありますようお祈り申し上げます。

エリア中国　西本　雅明
（パワーゼミ西本・広島県）

エリア中国の7月は福山地区の担当になっています。不便な所へ来ていただくのだから、何か役に立つ研修をしたいと考えて、毎年小さな頭を悩ませています。

今年は今話題の加計学園で研修をすることになりました（5月の定例会で決定しますから、「なりそうだ」が正しいです）。加計学園は幼稚園から大学、専門学校まで多くの学校を持つ学園グループです。福山にも英数学館小学校・中学校・高等学校があります。英数学館中高は国際バカロレアのディプロマ・プログラムの認定校で、IB（国際バカロレア）資格の取得が可能な学校です。小学校ではイマージョンプログラムを採用し、「英語を学ぶ」ではなく「英語で学ぶ」という考え方で、教育課程の様々な教科を英語で学んでいます。将来はIBの資格で世界のトップクラスの大学へ進学をする国際的な視野を持つ生徒を育てるという目標を持つ学校です。しかしながらIBDPも始まったばかりで、まだまだ生徒集めに苦労をしています。詳しく知る人の少ない取り組みですが、広島県はIB資格の取得を目指す県立の全寮制の中高一貫校を大崎上島に建設中で、「広島県立叡智学園」として2020年に開学予定です。全国的にも同じような動きがあるようです。新しい取り組みを始めた学校が地元にあるのですから、ぜひ見てみたいと思っています。

視察方法が具体的に決まりましたら、何らかの方法でお知らせいたしますので、ご興味のある方はぜひお越しください。

代表者会議において承認された２０１８年度のセンター役員です。仲野理事長体制は２期目に入ります。皆さんよろしくお願いします

2018年度　私塾ネットセンター役員

役職	氏名	塾名	所在	役職	氏名	塾名	所在
理事長	仲野　十和田	ナカジュク	東京都	研修部長	田中　宏道	LAPIS鎌ヶ谷	千葉県
会長	谷村　志厚	AIM学習セミナー	千葉県	研修部次長	柳田　浩靖	日米文化学院	千葉県
副会長	湯口　兼司	湯口塾	香川県	エリア活動推進部長	長江　広紀	英数学院	神奈川県
副会長	鈴木　正之	いぶき学院	東京都	エリア活動推進次長	松浦　重雅	教進セミナー	千葉県
副理事長	関　志郎	関教育学舎	青森県	監事	梶原　賢治	朝日学習館	埼玉県
副理事長	中村　直人	中村学院	神奈川県	監事	加藤　実	綜合教育研究会	東京都
副理事長	河浜　一也	学習共同体グループ	広島県	顧問	小宮山　博仁		東京都
副理事長	寺嶋　謙次	学習院セミナー	香川県	顧問	竹内　康信	山吹学習会	東京都
事務局長	鈴木　正之	いぶき学院	東京都	顧問	監物　一男	向学館	埼玉県
事務次長	長江　広紀	英数学院	神奈川県	私塾ネット・北海道代表	入江　昌徳	札幌進学教室	北海道
事務次長	長原　糸惠	のびのび学習塾	東京都	私塾ネット・東北代表	安藤　水無子	Andy's	青森県
会計部長	鈴木　学	デザインオフィススズキ	千葉県	私塾ネット・関東代表	渡辺　浩	人間教育渡辺塾	東京都
会計次長	木谷　朝子	木谷塾	東京都	私塾ネット・中部代表	松本　紀行	チャレンジ学院	長野県
広報部長	大住　明敬	聖学舎	埼玉県	私塾ネット・中国代表	佐藤　将紀	若竹塾	広島県
広報次長	西本　雅明	パワーゼミ西本塾	広島県	私塾ネット・四国代表	近藤　誠介	文化の森スクール	徳島県
広報次長	小野　昭	小野塾	香川県	私塾ネット・九州代表	林　芳子	Hayashi塾	宮崎県
広報次長	小林　昌宣	小林進学塾	北海道	ジュニアの会代表	渡辺　浩	人間教育渡辺塾	東京都
広報次長	扇野　明弘	学習塾　TRM　登龍門	青森県	ジュニアの会副代表	湯口　哲朗	湯口塾	香川県
渉外部長	川久保　博史	英数義塾	東京都	ジュニアの会副代表	柳田　浩靖	日米文化学院	千葉県
渉外次長	桂馬　辰尚	桂馬ゼミナール	東京都				
ネット管理部長	渡辺　浩	人間教育渡辺塾	東京都				
ネット管理次長	中村　庸彦	中村学院	神奈川県				

日本民間教育大賞授賞式挙行される
－松本紀行先生　民間教育最高功労賞受賞－

中村直人（私塾ネット副理事長）

桜が開花するという中、小雨降る、２０１８年３月２０日（火）に、日本民間教育大賞選定会議（株式会社 塾と教育社）主催の、第５回日本民間教育大賞の授賞式・記念講演会・祝賀会が東京・神田 学士会館において催されました。私塾ネットワークからは、過去５回の内、最高功労賞は故山口恭弘先生、佐藤勇治先生、特別功労賞には故碇優先生が昨年度受賞されています。そして本年は、私塾ネットエリア中部代表の松本紀行先生（チャレンジ学院）が日本民間教育大賞・民間教育最高功労賞を受賞されることとなりました。

私塾ネットも選定会議に参加していますので、私塾ネットからは仲野十和田理事長、私、また一昨年度大賞を受賞された佐藤勇治先生などが出席いたしました。

会は、午後2時に木村吉宏氏を総合司会として始まりました。塾と教育社社長の加藤麻由美様のご挨拶があり、次いで第一部記念講演会、昨年キャンセルとなった中室牧子先生（「学力」の経済学の著者・慶應義塾大学 総合政策学部准教授）の「教育に科学的根拠を」という演題による講演がありました。昨年度私塾ネット研修大会のご講演とほぼ同様の内容でした。

授賞式に先立ちまして、昨年業界に多大な貢献をなされ、お亡くなりになった先生方に黙祷を捧げました。次に、教育大賞選定会議の構成九団体の代表者および顧問の大島九州男先生が呼ばれ登壇しました。すでに最高功労賞の池上公介氏、野中績宏氏、小嶋勇氏、松本紀行先生は登壇。特別功労賞の梶浦隆章氏、中條哲夫氏、の二名、こちらは故人ですので奥様・後継者の方などが登壇しております。選定委員を代表して、全国学習塾協同組合の森貞孝先生によるお祝いのお言葉がありました。

表彰式では、加藤社長が一人ずつお呼びし功績を読み上げ、安藤大作先生・仲野十和田先生お二人によって賞状と楯が贈られました。「松本先生は、長野県の民間教育・塾教育の発展に寄与すると共に、教育ボランティア活動の発展に　寄与した功績によりまして民間教育最高功労賞を受賞されました。」と読み上げられ、賞状と盾が松本紀行先生に手渡されました。その後、大島先生のご祝辞があり、受賞者の方々の謝辞が一言ずつあり、授賞式は終わりました。

休憩後、礒津政明氏（株式会社ソニー・グローバルエデュケーション代表取締役社長）による第二部記念講演「未来を創造する21世紀型教育」が行われました。最後に、加藤社長が本日の謝意を述べられて本日の授賞式は滞りなく終了いたしました。終わってから、各受賞者が壇上にて記念撮影をしました。松本先生も奥様の妙子様と一緒に記念撮影をなさりました。

午後5時から祝賀会が盛大に開かれました。当日国会の委員会が開かれていて、議員先生方は忙しく、授賞式に間に合わなかった参議院議員の渡辺美知太郎先生や衆議院議員の下村博文先生も祝賀会には間に合って国会より駆けつけられました。長い一日もこうして午後7時頃にはお開きとなりました。

第16回　全国塾長・職員研修大会
2018年4月22日　大井町・きゅりあん

暑さになった4月22日。JR大井町駅からすぐの「きゅりあん」にて私塾ネット第16回全国塾長・職員研修大会が行われました。

今回の講演者はあの蓮池薫先生。1978年8月に日本で拉致され、その後24年間を北朝鮮で過ごし、2002年に日本に一時帰国の形で帰ってきた、あの蓮池先生です。

14時よりオープニング映像「映像で送る私塾ネット」から研修大会スタート。

続いての仲野理事長の挨拶では、テーマの「夢と絆」が果たして拉致事件とどうつながっていくのか、子供達の夢と絆をつなぐ塾人としてお話が待ち遠しくなってきます。

東京私立中高協会副会長の實好幹夫先生、全国学習塾協会会長安藤大作先生のご挨拶ののち、各エリアの先生方のご報告があり、１部が少し早めに終了しました。

講演　蓮池　薫先生
『夢と絆』
～翻弄された運命の中で～

15時になり講演が始まりました。そこから１時間半、ほぼ静寂もなく、ひたすらお話を続けられました。その熱、その事実、その現場に、会場の全ての人が引き込まれていきます。

「我々の家族は全員帰ってきたが、その2004年以来まだ他の人は帰ってきていない。」

その言葉の中には、当事者しか感じ得ない焦りが浮かんでいました。いかに北朝鮮に拉致されたことで自らの自由が奪われたのか。学ぶことも努力することも仕事も全て押し付けられて、夢を見ることができない。その環境の中にまだ日本人が残っている。時間がない。

蓮池さんは1978年7月31日に今の奥様と海辺でデートしている時に拉致をされました。人気のない海岸で前から来た男がタバコの火を借りに来たので火を付けようとしたところを後ろから顔を殴られ押さえつけられました。そのまま夜を迎え、大きな袋に入れられて沖にいた船に乗せられそのまま北朝鮮へと連れて行かれました。

その後、平壌付近のスパイ養成所である「招待所」へ連れて行かれ立派な革命家になれと教育を受けることとなります。死にたいと考えたこともあるが、こんな所で死んでたまるかと思い、情報が分かるようにと朝鮮語を学んでいきます。

毎週あった思想教育がなくなった時、１度目の変化がありました。引越しをさせられた後に結婚をさせられることに。しかも相手は一緒に連れて行かれた彼女。

その１年後、大韓航空機爆破事件を機に２度目の変化が起きます。今度は作るなと言われていた子供を作れと命令されます。そうして娘と息子が生まれました。

1990年にソ連と韓国が国交正常化をしたことにより最後の大きな変化が生まれます。さらに飢饉も起きて北朝鮮がアメリカ、日本との距離を縮めて経済協力を手に入れようとします。しかし、アメリカとはうまく行かず、日本からどうにか協力を手に入れるために拉致のカードを切ることにします。

様々な駆け引き、北朝鮮からの不合理な調査書、帰国の際に強要される嘘、再調査の中の誤魔化し。拉致の話だけでなくその裏事情まで、それこそテレビでは放送できないような話までしていただけました。あっという間の１時間半が終わり、質疑応答が始まりました。

その中で、高校生を連れて来ていただいた自由学園の生徒の一人の質問とその答えが印象に残りました。

「教科書に拉致問題に関することは取り扱われない。その中で、高校生は拉致被害者のために何ができるのか？」という質問に対して。

まずは拉致というものを知ってもらうこと。そして日本に残された家族の思いを感じてほしい。さらに今現在の被害者本人の気持ちを考えてほしい。

研修大会第一部、壇上は来賓挨拶をされる安藤大作全国学習塾協会会長

その中で、何ができると言えば、例えば個人からの手紙を政府に送ること。それは政府を動かすことに繋がると。

さらにその話の中で。気をつけてほしいことは、拉致は北朝鮮の国がおかしいのではなく調査部の暴虐である。将来は国民とは手を取り合うべきある。以前に小学生の前で講演をしたところ一人の生徒が「北朝鮮は悪い、ぶっ潰せ。」と言っていた。だがそれはおかしい。将来的には国を行き来できるようになれば良い。

高校生の素晴らしい質問に対し、誠実にまた、実際に被害を体験した人でしかない答えを出してくださり、最後に改めて感動を受けました。

最後に今、北に残されている人の気持ちはと聞かれたところ、昔は帰れるとは思っていなかったから、家族の身を守る気持ちを持ち続けていた。今は、北朝鮮にいる拉致被害者は、帰った人がいると言うことを知った上で待たされている。

少なくともこの日にこの場所にいた人は、拉致が現在進行形になっていることを知らなければならない。また、伝えられるのであれば伝えて行かなければならない。その気持ちを強く感じました。

また、「夢と絆」が失われてしまった蓮池さんが家族と帰国によって取り戻したことに喜びを感じる中、今、日本で生きている自分の生き方を見直す素晴らしい機会を得ることができました。

追記

その後の懇親会まで蓮池先生には参加していただけました。もちろん懇親会も大盛り上がり、私塾ネットらしい研修会は二次会、三次会と夜遅くまで続き、大井町の実り多き一日は過ぎて行きました。

蓮池さんの講演の後、小グループで感想を述べ理解を深める

全国塾長・職員研修に初参加して

柿崎　純
（エリア東北・個別指導Axis観光通り校）

私塾ネット入会後、初の全国塾長・職員研修に参加させていただきました。本研修に参加して、「やはり有意義だった」と言えます。振り返る前に、少々自分自身のことを述べさせていただきます。

わたくしは大学生のときに学習塾のアルバイトに参加しました。コンビニや引っ越しのアルバイトにも参加したことがありますが、ほぼ学習塾でアルバイトを経験していると言っていいと思っています。今年で指導歴２４年目となりました。

２４年学習塾での指導や運営を行っているうちに、勤務先の経営方針がフランチャイズ事業を推し進めるということも重なり、自分で本格的にやってみようということで、２０１６年３月１日に勤務先の直営校を買い取るという形で独立しました。出身は青森市でありますが、長年盛岡、山形、宮城で指導にあたっていましたので、青森市へ戻るのは１６年ぶりでした。

青森市へ戻って直営校を引き継いで今に至るわけですが、幸いにして直近３年間よりも数多くの児童・生徒に通ってきてもらうようになっております。一方で、フランチャイズ塾ではありますけれども、個人事業主になったわけですから、様々な人たちから教えを受けたいということで、どこか学習塾の団体がないかネット検索していたところ、私塾ネットを見つけて加入させていただいた次第です。

前置きはここまでにしておきまして、今回の研修は、前述の通り非常に有意義だったと言えます。社員時代にも研修はあったのですが、残念なことに様々な事情があってこの１０年は研修がなかったのです。そんな状況での研修参加でした。

研修の運営も社員時代には行っていましたので、内容はもちろん、進め方や構成に注目しながら参加していました。オープニングから内容が非常に濃いもので、いい意味で「凄い」と思っていました。また、ご挨拶や祝辞からは「児童・生徒・保護者を始めとして、塾に関わる方への思いやりを日々考えながら取り組むように」というメッセージが読み取れたとわたくしは勝手に思っております。日々の運営に悩殺されがちですが、忘れないようにしなければと改めて確認しました。

続いて、新潟経済大学准教授で翻訳家、拉致被害者の蓮池薫先生の講演が行われたわけですが、蓮池先生に対する印象は、「発表の仕方が上手い」ということでした。誤解を恐れずに述べるならば、報道等での印象では静かな感じを抱いていたので、果たしてどうなのだろうと思っていましたが、講演が始まってからは先生のお話を集中して聴くことができました。質疑等を含めると１００分近くでしたが、あっという間に時間が過ぎたというのが率直な感想です。

拉致事件は報道等である程度までは知っていましたが、当事者である先生からのお話を聴いて、「非常に重たい、取り上げるのに難しい事件」だと感じました。正直申し上げまして、全然想像できません。24年間の北朝鮮での生活が筆舌に尽くしがたいものだということが十分伝わってきました。自分で自分の道を決めて、実行に移すという「夢」と、家族や恋人とのつながりである「絆」を奪われるということがどういうことなのか。軽々しくわたくしは述べることではないと思っております。また、ただ単に「被害者を戻せばいいのではないか」と考えていましたが、「今残っている被害者の北朝鮮での現状と被害者家族の現状を十分認識した上で、その絆を裂くことなく取り戻さなければならない」という先生のお話は、大変説得力のあるものでした。拉致事件に関する様々な視点を得ることができた、参加してよかったと感じさせる講演でした。

蓮池さんの講演をお聞きした後の振り返りミーティング、背中姿は蓮池さん、湯口さんと仲野さんの間の方が筆者

ところで、普段から研修では一番前の席に座るようにしていましたので、今回も一番前に座るようにしていました。それが功を奏したのか、振り返りの場面では蓮池先生が加わってくださいました。名刺交換をすることができました。名刺交換ができたので、次のことを伝えました。「蓮池先生が訳された『韓国最強企業サムスンの22の成功習慣』は、わたくしが学んだ大学院（SBI大学院大学）の講義で教材として使われていましたよ」とです。わたくしは大学院で経営経済の学習に取り組んでいまして、アジアの人事管理に関する講義において前述の書籍がテキストとして指定されていましたので、取り寄せて一通り読んでいたのです。大変わかりやすい訳し方で、サムスンの取り組みがよく分かったことが印象に残っております。伝えられてよかったと思いました。また、大学では韓国語を履修していたのですが、パッチム（発音）に苦戦して挫折したことを先生に話しました。先生からは「発音は大事であるけれども、まずは気にしないで、通じればいいという心構えで取り組めば良い」というアドバイスをいただきまして、これは韓国語以外の語学でも使える話題だとすぐに感じ、塾での授業等で使おうと決心しました。普段聞けない北朝鮮の医療や、お子様のその後、北朝鮮の配給制度に関すること等、様々知ることができました。

以上、長文となってしまいましたが、参加して本当に良かったと感じています。研修大会のみの参加となってしまいましたが、来年以降もできるだけ参加するようにして、自己研鑽したいと改めて感じました。

全国塾長・職員研修大会　アンケート

＜Q1. 所属はどちらですか？＞

ア）私立学校（0人）　イ）塾関連企業（2人）
ウ）私塾ネット会員（14人）
エ）その他（3人）（内）千葉学習塾協同組合（2人）

＜Q2. 講演はいかがでしたか？＞

Q2－1）蓮池薫先生のご講演

・本当に90分間聞き入りました。生徒にも伝えていきます。
・自分が知らない世界、ましてや映画・ドラマの話が現実にあった時、非常に驚いた。今後、後世に伝えるべき話だと思って、明日から子供に話をしていくことを考えた。
・知ることから始まると思った。1つの手紙は書いて欲しいというのも印象深い。
・北朝鮮とは、一体何という国だ!!一体どこに向かって走っているのだろう。蓮池さん、拉致被害者の数十年を返してほしい。「日本の空気って軽いんだ！」すごい重みのあることば。全員日本に返してください。12名全員無事で!!北朝鮮の革命指導部が悪いということですね。
・「拉致被害者帰国」という報道当時中学生だったため、どういう経緯で帰国に至ったのかという部分について、北朝鮮にいるときに少なからず声を上げていたのかと思っていましたが、当時の流れや北朝鮮の背景等を伺うことができ、とても勉強になりました。そして、今また大きな変化につながる時が来ているのだと感じるとともに、残された拉致被害者の方々は、より複雑な状況、心境だろうと思い、心が苦しくなります。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。自分の不勉強を痛感した今日を契機に行動に移していこうと思います。
・夢と絆とは真逆の世界で絶望せず生きてこられたこと→スゴイ。我々が同じ国民として蓮池さんたちを守れなかったことや拉致を知らなかったこと→ゴメンなさい。
・大変面白く衝撃的な話でした。問題の解決に動けるようになりたいと感じました。
夢と絆という点で、目の前が真っ暗になる経験は想像できません。お子様方の日本社会への適応もとても印象的でした。
・「子供にウソをついて生活をする」どんなにお辛かったか、胸がしめつられる思いでした。あっという間の時の流れの中でも蓮池さんの勇気や決意を伺うことができて、本当にありがたいものでした。今、私たちにできること、何かひとつでも一歩前に踏み出してみようと思います。高校生の美しい日本語での質問に感動！私も塾生たちともっと向き合って行きたいです。
・かつてニュースで聞いた北朝鮮拉致問題。こんなに間近で拉致された実体験を聞くとは思わなかった。不思議な感じである。大変なご苦労をされ、お帰りになられ、とり返しのつかない24年間を過ごされ、前向きに生きていらっしゃるお姿を見て、ただただすごい！と思うばかり。こうして人前でお話しなさる勇気、拉致問題に立ち向かわれる蓮池先生、すばらしい。少しでも良い方向に向くようにと祈るばかりです。政府の皆さんにもっともっと拉致体験の家族との絆をもって理解してほしいです。難しいこの問題、一日でも早く解決してほしいです。
・夢中になってお話を伺いました。大変なご苦労をなさったことを想像するだけで、身体が震えるような思いでした。
考える人、信念を持った人、夢を持って前進する方だと思いました。
・拉致という体験を生の声で聞くことができて良かったと思います。本当に袋をかぶせられて、北朝鮮に連れていかれたということに驚きを感じました。ショックです！
・「やりたいことを自由に追い求めること、つまり夢をうばわれた」というのをお聞きして、今の自分がたいへん恵まれているのだということを恥ずかしながら再認識した次第です。ありがとうございました。大変長いご苦労の時間を想像するのは限界があるかと思いますので、書籍を購入しましたので、この後熟読したいと思います。
・国、歴史、戦争等の大きなうねりに一般国民の個人の人生がのみ込まれてしまうことの恐ろしさ、悲しさ、許されないことが認識されました。
・大変貴重なお話が聞けたことに感動しております。知らなさすぎたという点に（知っていたことがどれだけ小さいことだったのか）、情報の一方通行制に難しさを感じました。
・お話を聞いていて、まるで映画を観ているのでは、現実の世界ではないのではと思ってしまいました。拉致された家族の方々の苦しみ、悲しみを思うと怒り以外なにもありません。一日も早く全員が日本に帰ってこられることを祈っております。今ある日常の幸せを改めて感じました。

Q2－2）アイスブレークと「深める。ご講演を聴いて」

・短い時間ですが、考える事が「こんなにも」違うのかと思った。
・日本国内での問題や他の国との問題等々あって、後回しにされてしまっているように感じ、日本政府の不甲斐なさに、では私たち個人ができることは何だろうと考える機会になりました。
・現在の内閣はいろいろと問題をかかえてはいるが、それを少しおいといて、何とか北朝鮮にいる方々が日本に帰ってこられるような働きをしてほしいという思いです。
・子供と別れ、また日本に1年半後に呼び寄せた後の心配もありましたが、意外に日本に早く慣れるものだとも思いました。
・他塾様の取り組みを伺え、よかったです。このような交流会にまた参加したいです。

＜Q3. 本日の研修会はいかがでしたか？＞

Q3－1）満足度は？

ア）とても満足（13人）　イ）満足（3人）　ウ）ふつう（0人）
エ）やや不満（0人）　オ）不満（0人）

Q3－2）よかった点はどこですか？

・みんなに会ってほっとする会でした。
・先生のお話、わかりやすくて良かったです。
・みなさんのスピーチ、簡潔でgood。蓮池さんの講演、熱の入った講演で90分があっという間でした。
・質疑応答の件数が多く、話が一方通行じゃなかったこと。北朝鮮の生の様子を聞けたこともとても参考になりました。知るということの大切さを改めて感じました。
・蓮池さんのご講演もよかったですが、高校生の参加、質問がよかったです。
・仲野先生の最初のごあいさつで、絆である〝子供〟と毎日接していることのありがたみ、大切さを確認できました。ありがとうございました。

Q3－3）よくなかった点はどこですか？

プログラムの紙面上の時点で、すでにタイムマネジメントができていなかった点。それにより、グループでの時間が短くなってしまったことが残念でした。
グループごとに「まとめ」発表する時間で、我グループはパスされました…残念でした。
もっと人数が集まるとよいかと思われます。

Q3－4）ご意見、ご質問

・準備、運営、設営ありがとうございました。感謝致します。
スパイ防止法制定も含め、国は国民を本気で守ること、救

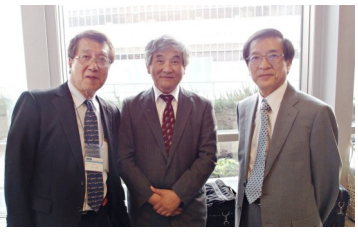
い出すことをやってもらいたい。我々も政府や国まかせにせず、個人でも声を大にして拉致された人たちを救う。
・今後も塾人として、学校とは違う立場で子どもたちに伝えられるような真実を知ることができる機会を増やして頂ければと思います。
・いろいろな経営方法があると思いますが、交流会のような座談会や雑談会(笑)もあると良いですね。ありがとうございました。

エリア四国からは大挙8名が参加、挨拶は木内先生(徳島)

左から関先生、安藤代表(エリア東北)、右端は近藤代表(四国)

エリア中国のメンバー、左は佐藤代表、右は影山先生親子

エリア関東新会員紹介、渡辺代表をはさんで左は渡辺勇治先生、右は菊地裕子先生


誌上句会メンバー左から谷村、十亀、木内先生、そして写真撮影は同メンバーの中村先生

塾・現場報告その①
教室の外にも勉強の場がある

中村　明雄（エリア関東・青葉学院）

子どもたちを外に連れ出す弊塾は、発足時から3000メートル級の登山、数々のキャンプ、海合宿、スキー合宿などの「野外活動」を実施しています。昨年は季節ごとの生物観察に「小網代の森」を親子で4回も訪れました。

「小網代の森」は三浦半島の先端にあり、海、河口から湿原、さらには源流域の森林が自然状態のまま一体として残り、豊かな生態系となっている大変貴重な森です。ここには約2000種の生き物が生息していますが、小網代の森といえば″アカテガニ″。その「放仔観察会」を昨年7月ついに実施することができました。アカテガニはカニの中では珍しく、森の中で生活していますが、夏の大潮の晩だけ、母ガニがいっせいに海岸に押し寄せ、お腹に抱えた幼生（ゾエア）を海に放つのです。その様子を海に入り、森から出てくるカニを待ち受ける形で観察するのです。

当日は、日没から丁度25分後、計算されたように主役たちは森からぞろぞろと出てきました。一列に並び待ち受ける子どもたちのあちこちから、「きたきた！」「どこ？どこ？」の声。カニに気遣いみなヒソヒソ声ですが高揚感はマックスに。波に洗われ

アカデガニ放仔観察会での青葉学院の子どもたち、中央が筆者

体を震わし放仔を始める母ガニ。これぞ本物のカニダンス！子どもたちはお尻が濡れようが、お構いなし。足元で繰り広げられるダンスに目は釘づけです。海から上がるとゾエアを顕微鏡で観察。帰路、時計は20時を回ろうとしていましたが、興奮冷めやらぬ子たちの足取りは、ヘイケボタルのお見送りというオマケも手伝ってか軽快そのものでした。

子どもたちを自然の中に連れ出して、生の体験をたくさんさせてあげたいと思っています。その中で生まれた興味・関心事は宝物になります。子どもたちにとって重要なことは、どんな分野であれ、どんな経験をして何を感じ、その経験をどうやって自分の未来とつなげるのかということではないでしょうか。自然はその美しさ、優しさ、雄大さ、不思議さ、一方では死をも意識させる怖さを教えてくれます。それらは私たちの心を半端なく揺さぶり、私たちに様々な感情を抱かせてくれます。教室内では下を向きがちな子どもたちの目が一気に輝く瞬間を大切にしています。

知ってましたか「クロヌリハイク」？

私塾実践同攷会（エリア四国・十亀幸雄氏主宰）のニュースレター「じっせん」１２月号に興味深いレポートが掲載されていた。題してクロヌリハイク、詳細は以下の通りです。十亀さんにご許可をいただいて全文を転載します。さすがが俳都愛媛県松山ならではの教育実践例です。　（編集部・谷村）

クロヌリハイク

◎実践授業　Haiku created by painting black　Y.SOGAME

クロヌリハイク
―小学５年国語「俳句・短歌を作ろう」単元指導原案―

十亀　幸雄　（愛媛県　そがめ塾）

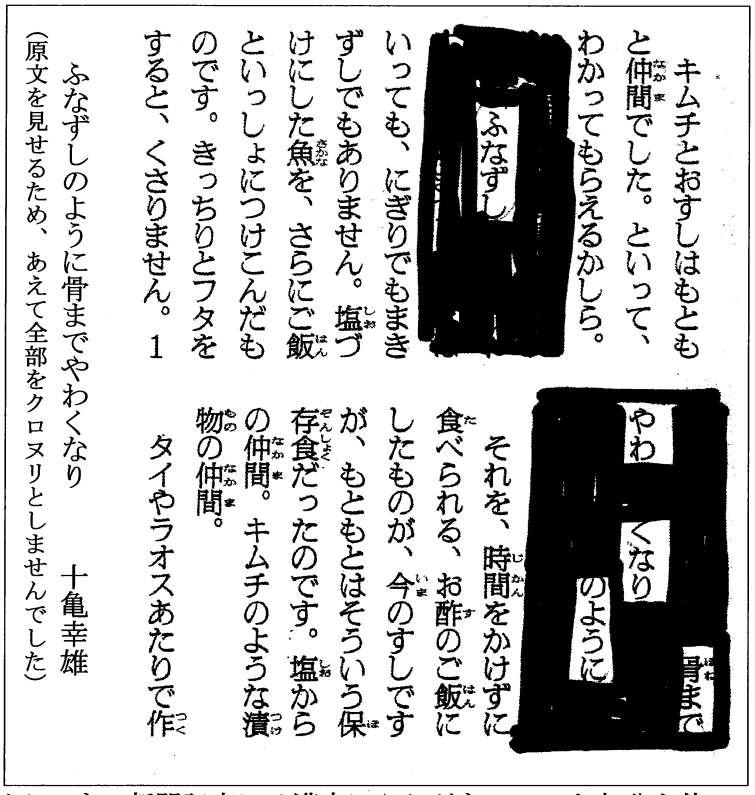
11 月頃、小学 5 年生国語教科書では、「日本の文化を考えよう」という単元があって、俳句について勉強する時間があります。ここで使う教材として、「クロヌリハイク」を準備しました。「クロヌリハイク」は松山市在住の黒田マキさんが最近に考案された俳句アートとでもよべる異色の俳句つくりです。松山でひそかに流行っているものです。全国でこれを知っている方はいないのではと思われます。これを一足早く小学生俳句指導にと考えその原案を報告することとします。『クロヌリハイク』は、夏井いつきさんが関わる「マルコボ・コム」から定価 756 円で販売されています。購入希望の方は、ネット販売のみですから web 上で購入して下さい。

さて、やり方はすごくシンプルです。次の手順で俳句を作ります。

クロヌリハイクつくりの手順

①新聞記事を決める。
②記事を何枚かコピーする
③記事のなかで季語を見つけて丸で囲む。季語の一覧プリントを生徒に配布するのも方法。
④使えそうな単語を探して丸で囲む。
⑤季語と合う単語を決定する。
⑥それらの単語に合う助詞を探して丸をつけて、季語に続く 7 音と 5 音を完成する
⑦清書の段階です。先ほどコピーした新しい分を使って、選んだ言葉以外をペンでクロヌリして完成する

100 円ショップで写真立てを買ってきて入れると、結構さまになります。



右は、私がつくったクロヌリハイクです。新聞記事には漢字にふりがなのついた部分を使っています。これなら小学生でも無理なくつくれます。

みなさんの学習塾でも、ぜひ実践していただきたいと思い報告させていただきました。

（註）新聞には著作権が関係しています。学校では大丈夫ですが、私塾では権料が必要です。したがって、新聞記事の代わりに、自塾や所属団体の広報誌を許可を得て使うのが妥当です。本紙の書評欄は縦書きで、使用するのにあっており、無料ですのでご使用下さい。

参考文献　キム・チャンヒ「クロヌリハイク入門」『100 年俳句計画』237 号マルコボ・コム 2017

私塾ねっと誌上句会　第三十一回

ぽつぽつと降るやつつじの日暮れ坂
結石の痛みうらめし五月晴れ
中村直人（神奈川県）
結石で苦しまれた中村さん、ゴールデンウイークの好天も外出はままならず、うらめしく五月晴れの空を見上げておられたのであろうか。ちなみに五月（さつき）晴れは梅雨間の晴れの日をいうので、この句は「ごがつ」晴れかな…。

さまざまなこと思いだす夏の夜
蚊帳に入りうれしきことも思いだし
長江勝秋（神奈川県）
現代子は蚊帳を知らない。長塚節の「垂乳根の母が吊りたる青蚊帳を…」の名歌は、教科書にも載っている。だが、垂乳根、青蚊帳とくれば「なんのことやら」であろう。

ふつふつと昭和の薫る粽（ちまき）かな
山村の谷をまたいで鯉幟
木内恭裕（徳島県）
和洋菓子から駄菓子まで、何でもある世の中では、ちまきは今や昭和の食べ物か。あと一年で平成の御代も終る。昭和レトロはいっそうセピアの色を深めることになるのであろう。

秒速のたとえを捨てて桜ちる
印刷機高速印字夏近し
十亀幸雄（愛媛県）
十亀さんが発刊されてきた「じっせんニュースレター」が、この３月、１１３号をもって休刊となった。我々はザ・じっせん句会の常連であったので、掲句の「印刷機…」に思い入れが深い。

薫風や艪音（ろおと）和める渡し舟
青葉光緋鯉真鯉の口二つ
谷村志厚（千葉県）
千葉県松戸市矢切は、名にし負う「矢切の渡し」の発着地。江戸川を渡って東京都葛飾区柴又に至る渡し舟が、今もギッチラギッチラギッチラコと艪音を響かせている。５月連休には長蛇の列ができる人気ぶりであった

編集部からお願い
次号は7月中旬発行の夏号です。
投句はお一人3句まで夏季語でお願いします。
投稿はメールshikot@aim-net.co.jpまたは
FAX047-368-2189　谷村まで
締切は7月10日です、ふるってご投稿ください。

閑話休題　　編集長　谷村志厚

◆当号では全国研修大会関連記事に4ページをさいた。レポートにあるように、蓮池薫さんの講演は出色であった。100名を越える聴衆が90分間微動だにしない。いくら講演慣れされているとはいえ、数奇な運命を経験された事実は、誰をも感動させるものである。ことに米朝関係がドラスティックに動いている時期でもあり、皆さんの関心の高さがうかがえた。蓮池さんが研修会場にお越しになった際、立場上最初にご挨拶し接待をさせていただくお役目であった。拉致被害者で著名な方とあって、いくらか緊張した初対面であった。しかし、まことに気さくで正直にお話しをされる方であることがすぐに分かった。講演会までの半時間、直接お話しをお聞きする機会を得たことは貴重であった。蓮池さんも期待をこめておっしゃっておられたが、今回の米朝の動きが、日朝懸念の拉致問題解決への大きな糸口になればと願うばかりである。

◆アメリカのスポーツ界で大活躍の若者がいる。現地のＴＶ中継では「オータニサン」の連呼だ。「タニサン」である小生谷村は、この絶叫を聞くたびに、応援をいただいているようで、これも悪くはないなと悦に入っている。大谷選手が花巻東高校時代に作った「目標達成表」なるものが面白い。これは佐々木監督の指導で高校1年の時に作成されたものだ。まず3×3の9マスの中央に目標を記入。大谷の場合は「ドラ1、8球団」。ドラフト会議で8球団から1位指名を受けることを目標としたのだ。次にそのマスの周りの8マスに、目標達成のための8つの要素を記入する。彼は「体つくり」「コントロール」「キレ」「スピード160km/h」「変化級」「運」「人間性」「メンタル」をあげた。次にその8要素をそれぞれ3×3で並ぶマスの中心に書き、それを達成するために求められる行動内容を書く。このようにして8×8計64の具体的なアクション計画が具体化されるのだ。「コントロール」「変化級」といった技術的なことは別として、「運」「人間性」といった要素のアクション計画が興味深い。例えば「運」には以下の8つのアクションをあげている。「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「審判さんへの態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」。はたしてどれほど実行実績があったかは分からぬが、野球漬けの高校生活を送るには具体的かつ実践的な行動指針になったことであろう。この目標達成表は受験生にとっても、受験の目標を定め日々の生活をする上で貴重なヒントになるのではないだろうか。ちょっと検討してみる余地はありそうだ。

大谷翔平が花巻東高校１年時に立てた目標達成表

体のケア	サプリメントをのむ	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的をもつ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気に流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダーのキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

（注）FSQ、RSQは筋トレ用のマシン（出所）スポーツニッポン

他団体との交流について

首都圏において、塾団体間の情報交換の場として機能しているのが「学習塾団体合同会議」です。この会議にはＪＪＡ（全国学習塾協会）、ＡＪＣ（全国学習塾協同組合）さらに東京・千葉・埼玉など都県認可組合といった許認可団体のほか、任意研修団体であるＮＰＯ塾全協そして私塾ネットが席を共にしています。

任意団体として共通の問題を抱える、塾全協と私塾ネットでは、今年に入りこれまでに増して、交流を深める機運が高まっています。従来両団体は、研修大会等の対外的な事業では協賛支援する形で、名目上の交流は行われてきました。今後はさらに人と事業の交流を深め、来年度には研修会等を共催しては、という方向性が話し合われています。中小塾の氷河期が深刻な昨今、任意団体もともに手を取り合う共栄の時代を目指す事態となったようです。

私塾ネットセンター　事務局通信

事務局長　鈴木正之(いぶき学院)

ＭＬＢファンの私はＧＷ中、特に不規則な生活をしておりました。例えば5/2,3は3:00からダルビッシュ投手や田中投手の試合を見て、11:00から大谷選手の試合を見る。さすがに3:00からの試合は全部見られませんから途中で眠ります。普段ＭＬＢの試合を楽しめるのも学習塾の仕事の時間帯と試合時間が被らないためです。それにしても5/3のイチロー選手の会長付特別補佐就任のニュースには驚きました。ただ、ＧＷを利用して日本から来たファンのためにせめて、大谷ＶＳイチローは実現させて欲しかったと思うのは私だけでしょうか。

さて、私塾ネットセンターの一番大きな行事である全国研修大会が4/22に行われ、事務局として参加者の管理をさせていただきました。名簿、名札、領収書などの作成です。実行委員の先生方とはLINEとメールと電話で、参加者や準備物、会場関係について連絡を取り合いました。ＰＣで作業をしながら、分からない事や聞きたいこと、伝えたいこと等はすぐにLINEで流し返事をもらいます。参加者の受付は殆どメールとFAXでした。ＰＣの前に座りながら、作業と情報の収集と発信ができることで作業効率が上がります。本当に便利な世の中になったものだと思います。研修会前日に約30件のやり取りがあったLINEも今は殆ど書き込みがありません。研修が終わったんだなぁと実感しております。

研修会当日は、10:30に仲野理事長（ナカジュクスタッフ）と渡辺関東代表（渡辺塾スタッフ）が荷物の運搬のため当塾に集まりました。4次会が終了したのは翌2:50。その間に色々なことがあり多くの学びがありました。蓮池薫さんのご講演は我々に改めて拉致問題を考えさせてくれましたが、私はその約16時間に起きた全ての出来事が自分にとっての学びでありました。今年の研修会を糧として、さらに上のランクの運営ができるように、私自身も私塾ネットも変わって行きたいものです。当然のこととは言え、予期せぬことが起きたり、計画通りにいかなかったりしたことがいくつも有りました。しかし、私塾ネットの先生方やお手伝いスタッフに助けていただきました。会場のきゅりあんの皆様や、懇親会でお世話になったＫラウンジの皆様にも感謝です。

事務局としては、参加者の皆様が何事もなく気持ちよく過ごせることができたなら、それで良かったと思っております。その当たり前のようなことが大切であり、その当たり前のことが成されるために働いていた方々の頑張りを称え、この場を借りて彼らにお礼を言いたいと思います。「ありがとうございました」。

最後に鈴木個人の印象に残っている出来事（光景）ベスト５を発表させていただきます。第５位は講演前に控室で蓮池薫さんとのお話したこと。第４位は３次会のカラオケ店での超異様な盛り上がり。第３位は私の中学時代の同級生の菊地先生が入会され当日来てくれたこと。第２位は熊野先生と２年ぶりに会えたこと。そして第１位は、４次会の中華屋さんでネクタイを頭に結んで、隣で餃子を食べていた田中宏道研修部長の笑顔です。

ちぎり絵歳時記⑨（みほとけ）

作画・中村光江

みほとけの笑みや満ちたり五月闇（直人）

弥勒菩薩の切り絵に添えられた俳句の季語「五月闇」は、梅雨の時期の陰鬱な暗さをいう。闇を背景にみほとけがほほ笑む。神々しさを湛えている様を描写するのには、「五月闇」の季語は適切であろう。

同じ夏の闇を表現する季語に「青葉闇」がある。これは鬱蒼と茂る青葉が作る闇で、前者とはいささか趣を異にする。この季語は「木下闇」と同義とされるが「青葉」と表現する方が、初夏の季節感が際立つようにおもえる。青葉が作る闇にはほっと和める安堵感と救いがある。

ところで、五月＝皐月の語源は何であろうか。一説には「早苗月（さなえづき）」が語形変化したという。そして早苗の「さ」は「皐」で「神に捧げる稲」が語源だそうな。

中村メイコという大ベテランの女優・歌手がおられる。この方の芸名の「メイ」は五月の英語「Ｍａｙ」、本名は「神津五月」さん、お生まれは１９３４年５月１３日。この雑文を書いているのは２０１８年５月１３日。偶然にも８４歳のお誕生日に重なった。思えばちぎり絵の「みほとけ」にどこか似ておいでだ。（谷村）

賛助会員一覧（順不同）

関東国際高等学校　村山ｻﾝﾄﾞﾗｰ先生
東京都渋谷区本町3-2-2　TEL03-3376-2244

江戸川学園取手中学高等学校　竹澤　賢司先生
茨城県取手市西1-37-1　TEL0297-74-8771

東洋高等学校　石井　和彦先生
東京都千代田区三崎町1-4-16　TEL03-3291-3824

桜丘中学高等学校　髙橋　知仁先生
東京都北区滝野川1-51-12　TEL03-3910-6161

聖徳大学附属女子中学高等学校　川並　芳純先生
千葉県松戸市秋山600　TEL047-392-8111

麹町学園女子中高等学校　大野　博人先生
東京都千代田区麹町3-8　TEL03-3263-3014

春日部共栄中学高等学校　宇野　禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213　TEL048-737-7611

東京立正中学高等学校　安原　正樹先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15　TEL03-3312-1111

八雲学園中学高等学校　横山　孝治先生
東京都目黒区八雲　2-14-1　TEL03-3717-1196

関東第一高等学校　副田　康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11　TEL03-3653-1541

武蔵野中学高等学校　後藤　伸一先生
東京都北区西ヶ原4-56-20　TEL03-3910-0151

和洋国府台女子中学高等学校　和田　伸平先生
千葉県市川市国府台2-3-1　TEL047-371-1120

新渡戸文化中学高等学校　藤井三恵子先生
東京都中野区本町6-38-1　TEL03-3381-0196

東洋大学付属京北学園　杉原　米和先生
東京都北区赤羽台1-7-12　TEL03-5948-9113

大森学園高等学校　増田　宇　先生
東京都大田区大森西3-2-12　TEL03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校　野中　修也先生
東京都北区豊島8-26-9　TEL03-3911-2786

日本工業大学駒場中学高等学校　河村　文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32　TEL03-3467-2130

青稜中学高等学校　伊東　充　先生
東京都品川区二葉1-6-6　TEL03-3782-1502

東京女子学園　実吉　幹夫先生
東京都港区芝4-1-30　TEL03-3451-6523

駒込中学高等学校　河合　孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25　TEL03-3828-4141

愛国中学高等学校　高橋　英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1　TEL03-3658-4111

安田学園中学高等学校　磯　正樹先生
東京都墨田区横綱2-2-25　TEL03-3624-2666

日本音楽高等学校　伊庭　崇　先生
東京都品川区豊町2-16-12　TEL03-3786-1711

立正大学付属立正中高等学校　今田　正利先生
東京都大田区西馬込1-5-1　TEL03-6303-7683

上野学園中学高等学校　高橋公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12　TEL03-3842-1021

二松学舎大学付属高等学校　車田　忠継先生
東京都千代田区九段南2-1-32　TEL03-3261-9288

村田女子高等学校　二渡　道雄先生
東京都文京区本駒込2-29-1　TEL03-5940-4455

自由学園（中等部・高等部）　更科　幸一先生
東京都東久留米市学園町1-8-15　TEL042-422-3111

帝京中学高等学校　上瀧　栄治先生
東京都板橋区稲荷台27-1　TEL03-3963-7734

京華学園　今野　巌　先生
東京都文京区白山5-6-6　TEL03-3941-6493

武蔵野大学千代田高等学院　渡部　隆巳先生
東京都千代田区四番町11　TEL03-3263-6551

日出中学高等学校　天野　正貴先生
東京都目黒区目黒1-6-15　TEL03-3492-3388

共栄学園中学高等学校　松宮　博　先生
東京都葛飾区お花茶屋2-6-1　TEL03-3601-7136

中村中学校・高等学校　富田　義道先生
東京都江東区清澄2-3-15　TEL03-3642-8041

東京女子学院中学高等学校　宗内　信二先生
東京都練馬区関町北4-16-11　TEL03-5903-9559

文教大付属中学高等学校　神戸　航　先生
東京都品川区旗の台3-2-17　TEL03-3783-5511

国際高等専門学校　松尾　多郎先生
石川県金沢市久安2-270　TEL076-248-1080

㈱創開コミュニティー　小林　和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202　TEL04-7164-6511

㈱私塾界　山田未知之様
豊島区東池袋1-39-1三善ビル　TEL03-3987-0838

㈱ＳＲＪ　板橋　玲　様
中央区京橋3-12-7　京橋山本ﾋﾞﾙ9F　TEL03-6865-6380

デザインオフィススズキ　鈴木　学　様
千葉県柏市柏687-6　TEL04-7164-8276

㈱ｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾅﾙﾈｯﾄﾜｰｸ　斉藤　高志様
千代田区富士見町2-11-11 峰ﾋﾞﾙ3F　TEL03-5275-2101

小池教育研究所　小池　仁　様
愛媛県今治市大西町別府2380-1　TEL090-1451-9757

㈱POPER　栗原　慎吾様
千代田区東神田2-1-8秋葉原ｸﾛｽｻｲﾄﾞ TEL03-6265-0951

ＬＴＳ株式会社　堺　健司　様
千葉県柏市花野井1925-31　TEL090-2400-9515

㈱トーエイ　柏営業所　柿内　智之様
千葉県柏市若柴297-12　TEL04-7190-5890

㈱塾と教育社　加藤麻由美様
東京都千代田区飯田橋4-4-8-310　TEL03-6265-6855

株式会社 ブックモールジャパン　撹上　聡　様
埼玉県戸田市上戸田4-2-33　TEL048-447-7457

教育開発出版株式会社　糸井　幸男様
東京都杉並区下高井戸1-39-12　TEL03-3304-5321

株式会社ナイズ　谷村　紀嗣様
横浜市都筑区中川1-20-1　ｻﾌｧｰﾚ中川　TEL03-3304-5321

(株)クロノクリエイト　添田　大亮様
渋谷区神宮前5-52-2　青山ｵｰﾊﾞﾙﾋﾞﾙ　TEL03-5468-6986